

コミュニティ版



コミュニティガーデンの参加者募集！ コミュニティガーデンとは

「コミュニティガーデン」という言葉聞いたことがありますか？福山でも市民農園での野菜作りがおこなわれています。「コミュニティガーデン」と市民農園との違いは、農業の技術指導も受けながら、野菜作りを通して人間関係などを築き、緑のまちづくりへと発展する可能性を秘めた取り組みです。ニューヨークでもコミュニティガーデンを使った取り組みで一定成功しているところもあります。日本では横浜市の取り組みが先進的だと言われています。名古屋市では「コミュニティ菜園」という名称を使ってこうした活動をしているNPO法人もあります。

・この事業の目的

耕作されていない農地（不耕地）などを有効利用して「まちづくり」に活かそうとするものです。



・経過

東京練馬の白石さんたちがされているように農業技術の指導を受けながらの体験農園型の野菜作りが出来たらいいなあ、というところまでしゃべっていました。たまたま今年の初めに、会員の佐々木さんのお世話で田んぼの一部をお借りできることになりました。「コミュニティガーデン」と銘打って、野菜等の植え付け時期も来ていたので「さりあえず」野菜作りを始めました。

・メンバー

はじめは会員3〜4名で考えていました。たまたま声をかけた市立大学の先生から、野菜作りクラブの学生も利用させてもらえらるか、と電話もいただきました。大歓迎と言いついで、今のところ会員4名と学生さんたち約10名に加えて先生方も参加で野菜作りをしています。先生はこうした活動に関心を持たれ、NPOで米作りをしたことがあり今は神

石高原町でソバづくりをしている

方、ラッキョウ、梅など加工品づくりをされている方もあります。作付けなどの指導は廣中さんをお願いしています。



写真②

・作業の取り組み

畑での作業と座学をしています。座学は、①「コミュニティルネッサンス研究所について」②はただけの土壌について③の2回おこなっています。

次に畑での作業です。写真①は佐々木さんが草を刈ってくださったところをミッティングで耕したところです。皆で第一回目の植え付けをしたのは4月24日。写真②は皆で耕してplanting.

写真①



写真③はマルチシートをかけた上から大豆の植え付けの仕方など廣中さんから指導を受けているところです。枝豆の他ナス、キュウリ、昔ながらのものも植えました。でっかいのが出来ました。(ミニトマト、オクラ、ピーマン、ニンジン、ラディシユ、トウモロコシ等々を植えました。小松菜も植えました)が、虫に食べられて葉っぱがリース模様のようにになりました。廣中さんが持つてきてくださったア



まだ始めたばかりです。とにかく草の成長が早いです。うっかりしていたらあっという間に大草です。月に1度くらいみんなが集まって作業をするようにしています。9月10日には草取りならぬ、草刈

若い人たちと一緒に作業をしていたら楽しいことがあります。
 ・“まびく”という大きくなったものから取るの？
 ・まびいた野菜はどうやって食べたらいいの？
 ・野菜の収穫は、店に並んでいるくらい大ききにならないと取ってはだめだと思ってた。
 ・昔ながらのでっかいキュウリは店の全部がグリーンのもとは違うので、病気ですか？
 などなど。

りをしました。これから冬野菜です。

こうした野菜作りに参加してみたい方、一緒にやってみませんか。連絡ください。お待ちしております。

★六次産業という言葉、ご存じですか？

この言葉は東京大学の村奈良臣先生提唱の言葉です。

農産物、水産物の生産産 第一産業) だけでなく、食品加工 (第二産業)、流通販売 (三次産業) にも農業者が主体的活総合的にかかわることによって農業を活性化しようというものです。この一次、二次、三次を掛け合わせると六になります。それで六次産業と言います。



Community Renaissance Research Center



会報 第3号(2010.10.1)
 広島県福山市木之庄町4-3-14
 tel & fax:084-917-5937
 e-mail info@crrc-fukuyama.org
 URL http://crrc-fukuyama.org/

お詫び



ホームページのサーバーに繋がらない状況が続いています。当分の間、メールは次のアドレスでお願いします。

h5s21bm6@ene.megaegg.ne.jp

名古屋市民と長野県 阿智村の「リボ農業」

今年度総会の時に話の出た研修旅行の下見に長野県に行ってきました。名古屋から中央自動車道にのって長い「恵那山トンネル」を出たあたりにある、天白グリーンファームという農園です。安川、三好、廣中、伊佐、三浦貞、細井、加納で行ってきました。本会会員の西山先生に大変お世話になりました。近くには温泉もたくさんあります。以下その概略をご紹介します。

畑で農作業をされているところを見学した後、すぐそばにある集会所に移動して昼食を食べながらお話を聞きました。昼食は施設に勤めていた方が退職して始めた食堂のもので、地域の農産物を使ったおいしいお弁当でした。

集まってくれたのは名大病院の看護師さんご夫妻、彼は会社経営者、彼女は美術史が専門のご夫妻、因島出身で名古屋から大阪に転勤になり大阪・長野・因島の三カ所で農業を楽しんでいらつしやるご夫妻、西山先生ご夫妻でした。

そもそもはじめは名古屋生協天白事業部で農業体験講座をやっていたのがきっかけだそうです。生協がやらなくなつて一年間休んだが、やっぱり農作業が

したかった。そこで農園希望者と村の老人会、農事組合法人、農業改良普及所、観光課といった四団体と話し合つて続けることになった。種からもらい農業改良普及員さんが必ず来て農作業のやり方から収穫の仕方まで教えてもらつていた。村の人たちからは漬け物の漬け方、そばの打ち方などを教えてもらつたり、その土地でしかない種を分けてもらつて栽培するなど交流をしている。

現在は月1回協同でやる部分と個人個人が勝手にやる部分とがある。トウモロコシ、大豆、タマネギの栽培と収穫物の加工品づくりは協同でやっている。「一緒にやる」と多少競争心が出て楽しいとのことでした。

今年度この阿智村への研修旅行を考えていましたが、今からでは少々無理なようですから、来年度に計画したいと思っています。今年度は県北への研修旅行を企画してみました。



研究会の「案内」

テーマ

うたと少年雑誌から見る世相／うたは世につれ
世はうたにつれ／

日時：10月22日（土）曜日（14時）

場所：NPO法人「コミュニティルネッサンス研究所」

事務所

話題提供者

福山市立女子短期大学名誉教授 津川淳さん。

とにかくいろいろなものを集めるのが好き。音楽も各時代の童謡から演歌までのテープがごっそり。

参加費：500円

県北の農業と紅葉を楽しむ1泊2日の研修旅行

日時：11月19日（土）、20日（日）9時出発

内容：

①町中が美しく豊かな農村公園をめざした世羅高原の六次産業の取り組みについて、その取り組みを進めてこられた元県の生活改良普及員さんから話を聞く。

②世羅ワイナリーで昼食

③湯来ロッジで宿泊して交流

④帰りながら紅葉を楽しむ

経費：約2万5000円

申し込み：申し込み締め切り……10月20日

申し込み方法

①FAX 0849-917-5937

②郵送 福山市木之庄町4-3-14

コミュニティルネッサンス研究所

③加納携帯電話へ：090-4106-9107

集合場所等は別途お知らせします。